



私たちの楽団を紹介します

我孫子シニアアンサンブル

我孫子シニアアンサンブルは、全日本シニアアンサンブル連盟名誉理事長でいらつしやる岡村斉能氏により、千葉県初のシニアアンサンブル楽団として2001年8月に我孫子市で設立されました。以来、毎週木曜日の午後、市内の近隣センターや公民館で練習する傍ら、年間7回ほど市内の「ふれあいサロン」や「介護施設」等への出張演奏会、また2年毎に定期演奏会を開催しております。

現在の団員は31名、2025年ついに念願の30名に達しました。クラシック、ポップス、タンゴ、映画音楽、童謡、歌謡曲、ジャズ等幅広く手がけ、これまでに演奏した曲は200曲を超えています。

現在の指導者はガチ熱血な横林歩先生。上達のための細かく丁寧なご指導で私達を導いてくださいます。

そのような私達の我孫子シニアアンサンブルは、ちょうど今年2026年8月に創立25周年を迎えます。なんと発足当時から団員が1名いらつしやり、15年以上在籍している団員は6名、10年以上在籍は3名、5年以上在籍は4名、そしてここ5年間で17名が入団してくれました。私達の団では新入団員が入ると歓迎会を開いております。最近では2025年10月3日、まず午前中に我孫子市湖北地区公民館ホールで「ふれあいサロン」の演奏会。その後我孫子の老舗「かじ池亭」で2025年入団6名の歓迎会を行いました。ちよつと豪華なランチをいただきながら楽しく語り合い、ビンゴゲームを楽しみ、親睦を深めました。

今後この我孫子シニアアンサンブルでたくさんの音楽好きな仲間と巡り合い、「楽しく・仲良く・活き活きと」を合言葉に、「生き甲斐として合奏を楽しみ合い、生涯活動として音楽力を高め、出張演奏などにより社会貢献する」事を実践していきます。

代表 津川由美子



千葉シニアアンサンブル

・それいゆ

千葉市アマチュア音楽趣味サークルとして2008年6月に発足、爾来全シ連に加盟、アンサンブル演奏の振興を図り、かつ生涯学習として音楽活動を楽しみ、健康で生き甲斐のある人生を送ることを目指しています。

現在の楽器構成は、バイオリン、コントラバス、フルート、トランペット、サクソ、クラリネット、キーボード、ギター、ピアノ、ドラムス。

当団の愛称「それいゆ」は、太陽のごとく、ひまわりのような笑顔で聴衆の心に響く演奏を心掛けたいとの思いから命名したものです。横林先生の厳しくも愛情に溢れたご指導のもと更なるレベルアップに向けて和気あいあいとした雰囲気の中練習に励んでいます。

演奏会活動は、毎年開催の定期演奏会、介護施設への訪問演奏、地元自治会主催敬老会など年間5、6回程度。今年も、健康第一に楽しく仲良くいきいきと活動していきたいと思えます。

代表 本郷清

